

自宅で毎日イキイキ生活! 病気のサインを見逃さないで! 早期発見が大切です。

あてはまる項目にチェック ☒ をお願いいたします。

☐ 腰や関節が痛い



☐ 肩が凝る



☐ ろれつがまわらない



☐ 皮膚がカサカサ



☐ すぐ疲れる



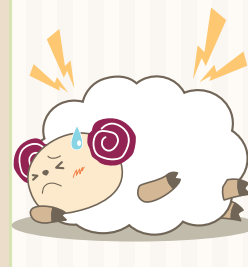
☐ イライラする



☐ むくみ



☐ とこずれ



☐ 眠れない



☐ いびき



☐ お腹が張る、便秘



☐ 麻痺やしびれ



☐ 飲食でよくむせる



☐ 食欲がない



☐ つまずく



☐ 皮膚がかゆい



☐ トイレが近い、頻尿



☐ 物忘れが激しい



☐ 吐き気 (病気による)



☐ 息苦しさ (病気による)



☐ ドキドキする



アクティブ100歳を目指して!
チェックで気になった方は
メリオホスピタルへ!



入院診療計画書 「食えること・飲むこと・むせるなど心配な方の入院予定表」

氏名



入院期間 原則 1 週間 （検査結果・訓練内容により入院期間を変更することがあります） 入院 年 月 日

	入院前	入院当日（ ）	入院 2 日目（ ）	入院 3 日目～	退院前日（ ）	退院日	退院後	
目標	☐入院に関わる準備ができる 入院中、自身・介助者が目標とすること	☐入院生活の流れの説明を受け、イメージがつく ☐入院中の検査・治療の説明を受け、わかる	☐食事に関わる動作・姿勢などの大切さがわかる ☐食事の種類・必要な水分量の目安がわかる	☐嚥下造影検査について理解できる ☐全身状態について説明を受け、今の状態がわかる	退院後、自身や介助者が継続して行うこと			応援してるよ！
説明	☐入院に必要な書類 ☐現在服薬中のお薬・手帳を入院時に持参 ☐入院時用意する物 *入院セット申込みをされる場合準備は不用	☐入院時オリエンテーション ☐主治医・看護職員・療法士・薬剤師・栄養士から検査・治療・看護などの計画 ☐転倒・転落の危険防止 ☐人生会議(アドバンス・ケア・プランニング) ☐希望時、入院中に歯科往診が受けれます	☐食事の姿勢・食べる速度 ☐口の中の状態 ☐必要時、歯科往診	☐嚥下造影検査 ☐食事形態の選択 ☐入院時の検査結果	～療法士・摂食嚥下看護認定看護師から～ ☐退院後食事をする場所（ ） ☐退院後、適した食事形態（ ） ☐食事にかかる時間（ ） ☐一日に必要な水分量（ ） 食事にに関して不安や困ったことがあった時の相談先 メリィホスピタル082-849-2300 *リハビリテーション科 言語聴覚士 * 摂食嚥下看護認定看護師 *栄養科 管理栄養士のいずれかにお電話ください			☐食事をする場所・食事の種類などが、ムセや誤嚥などに影響します ☐退院後の食事のご様子を確認するために、病棟スタッフや療養士、管理栄養士、摂食嚥下看護認定看護師等がご訪問させていただきます ☐訪問予定日（ 月 日 時頃 ） *一回目の訪問結果により何度かお伺いさせていただく場合もあります
食事	☐食事で食べにくい物、飲み込みにくい物を入院時に、伝えてください	☐食事の種類について栄養士と相談します ☐食事制限(アレルギーなど)を確認します ☐食欲・食事摂取量、嗜好について確認します	☐食事動作・飲み込みなど確認します ☐食事形態が合っているか確認します ☐食欲・食事摂取量、嗜好について確認します	☐栄養指導を行います	～受け持ち看護職員から退院後の生活について～			退院おめでとうございます！
検査・治療 リハビリ		☐心電図・胸部レントゲン 栄養状態判定(体重測定含む) ☐血液検査(炎症・貧血・栄養状態・肝機能・腎機能 血糖・脂質など)・検尿 ☐腹部超音波検査・下肢血管超音波検査 ☐摂食機能簡易検査	☐口腔内健診 ☐口腔ケア方法・指導 ☐食事方法の指導(姿勢・介助方法など)検査	☐嚥下造影検査 ☐嚥下内視鏡検査 ☐水飲みテスト ☐フードテスト ☐内服種類検討・服薬指導				退院おめでとう!!
生活	☐お住まいの場所に看護師が訪問し、現在の症状や生活についてお話を伺います	☐日常生活の活動・排泄・睡眠などについて病棟スタッフがお尋ねします ☐入院生活中の生活に関わるご希望をお聴きします ご記入ください	☐離床活動をすすめます ☐生活面で気になることを、解決できるように一緒に考えます					
退院後調整		☐患者さん・家族・主治医・看護師・療法士・薬剤師・栄養士・相談員等により退院後の生活を含めた話し合いを実施します ☐話し合いの内容を受けて退院支援計画書を作成し、説明します	☐医療・介護・福祉等の社会制度についてお困りごとに合わせて利用できる制度・サービスがないか考えます ・お困りごと ・介護サービス利用について ・在宅医療・福祉用具について ・経済的な事についてなど		☐入院中の様子や検査結果等を関係者と共有し安心して退院後の生活が送れるよう支援します	退院後、お困り事の連絡先 メリィホスピタル082-849-2300 「外来」もしくは「相談窓口」にお電話ください		



入院診療計画書「からだのメンテナンスで日常生活動作を拡大したい方の入院予定表」

氏名



様

入院期間 原則 2 週間 （検査結果・訓練内容により入院期間を変更することがあります） 入院 年 月 日

	入院前	入院当日（ ）	入院 2 日目（ ）	入院 3 日目～	退院前日（ ）	退院日	退院後
目標	☐ 入院に関わる準備ができる 辛い症状()が緩和する	☐ 入院生活の流れの説明を受け、イメージがつく ☐ 入院中の検査・治療の説明を受け、わかる	☐ 辛い症状の原因がわかる	☐ 全身状態について説明を受け、わかる	退院後、自身や介助者が継続して行うこと		
説明	☐ 入院に必要な書類 ☐ 現在服薬中のお薬・手帳を入院時に持参 ☐ 入院時用意する物 *入院セット申込みをされる場合準備は不用	☐ 入院時オリエンテーション ☐ 主治医・看護職員・療法師・薬剤師・栄養士から検査・治療・看護などの計画 ☐ 転倒・転落の危険防止 ☐ 人生会議(アドバンス・ケア・プランニング) ☐ 希望時、入院中に歯科往診が受けれます	☐ 辛い症状の原因と治療方針 ☐ リハビリと安静 ☐ 必要時薬物療養	☐ 入院時の検査結果 ☐ 家屋調査	日常生活を送る上で「運動器・整形」に関わる必要なこと療法師と確認しよう！		
食事	☐ 食事で食べにくい物、飲み込みにくい物を入院時に、伝えてください	☐ 食事の種類について栄養士と相談します ☐ 食事制限(アレルギーなど)を確認します ☐ 食欲・食事摂取量、嗜好について確認します	☐ 栄養状態が保たれ、辛い症状の緩和につながる食事の工夫・栄養指導 ☐ 適正体重管理指導	☐ 食器の種類・ポジショニング・自助具の検討	*一回目の訪問結果により何度かお伺いさせていただく場合もあります		
検査・治療 リハビリ		☐ 心電図・胸部レントゲン ☐ 栄養状態判定(体重測定含む) ☐ 血液検査(炎症・貧血・栄養状態・肝機能・腎機能 血糖・脂質など)・検尿 ☐ 頸部血管超音波検査・下肢血管超音波検査	☐ 痛みに関連するレントゲン撮影(必要時CT撮影) ☐ 筋力・痛み・バランスなど身体機能評価 ☐ 日常生活動作評価 ☐ フィットレビー	☐ 福祉用具の見直し提案 ☐ 運動指導・運動療法 ☐ 服薬指導 ☐ 日常生活動作練習	～受け持ち看護職員から退院後の生活について～		
生活	☐ お住まいの場所に看護師が訪問し、現在の症状や生活についてお話を伺います	☐ 日常生活の活動・排泄・睡眠などについて病棟スタッフがお尋ねします ☐ 入院生活中の生活に関わるご希望をお聴きします ご記入ください	☐ 離床活動をすすめます ☐ 生活面で気になることを、解決できるように一緒に考えます		退院おめでとう ございます！		
退院後調整		☐ 患者さん・家族・主治医・看護師・療法師・薬剤師・栄養士・相談員等により退院後の生活を含めた話し合いを実施します ☐ 話し合いの内容を受けて退院支援計画書を作成し、説明します	☐ 医療・介護・福祉等の社会制度についてお困りごとに合わせて利用できる制度・サービスがないか考えます ・お困りごと ・介護サービス利用について ・在宅医療・福祉用具について ・経済的な事についてなど		退院後、お困り事の連絡先 メリィホスピタル082-849-2300 「外来」もしくは「相談窓口」にお電話ください		



入院診療計画書 「肺・息苦しさで困っている方の入院予定表」 氏名



入院期間 原則 1 週間 （検査結果・訓練内容により入院期間を変更することがあります） 入院 年 月 日

	入院前	入院当日（ ）	入院 2 日目（ ）	入院 3 日目～	退院前日（ ）	退院日	退院後	
目標	☐ 入院に関わる準備ができる 辛い症状()	☐ 入院生活の流れの説明を受け、イメージがつく ☐ 入院中の検査・治療の説明を受け、わかる ()が緩和する	☐ 呼吸の状態の評価ができる ☐ 苦痛に感じている症状(咳・痰が多い・息苦しい・動く息がしんどいなど)日頃の状態を医師・医療スタッフに伝えることができる	☐ 安静・運動時の酸素の取り込み状況を測定し、知ることができる ☐ 全身状態について説明を受け、わかる	退院後、自身や介助者が継続して行うこと			応援してるよ！
説明	☐ 入院に必要な書類 ☐ 現在服薬中のお薬・手帳を入院時に持参 ☐ 入院時用意する物 *入院セット申込みをされる場合準備は不用	☐ 入院時オリエンテーション ☐ 主治医・看護職員・療法士・薬剤師・栄養士から検査・治療・看護などの計画 ☐ 転倒・転落の危険防止 ☐ 人生会議(アドバンス・ケア・プランニング) ☐ 希望時、入院中に歯科往診が受けれます	☐ 息苦しさの判定として、酸素飽和度(動脈血の中にどのくらい酸素が含まれているかの指標) ☐ 咳・痰が出る原因 ☐ 効果的な呼吸の仕方	☐ 動脈血について(血液中の酸素や二酸化炭素の検査) ☐ 入院時の検査結果	日常生活を送る上で「呼吸」に関わる必要なこと療養士と確認しよう！			☐ 退院後の食事の様子を確認するために、病棟スタッフや療養士、管理栄養士、摂食嚥下看護認定看護師等がご訪問させていただきます ☐ 訪問予定日(月 日 時頃) *一回目の訪問結果により何度かお伺いさせていただく場合もあります
食事	☐ 食事で食べにくい物、飲み込みにくい物を入院時に、伝えてください	☐ 食事の種類について栄養士と相談します ☐ 食事制限(アレルギーなど)を確認します ☐ 食欲・食事摂取量、嗜好について確認します	☐ 食事を食べる時に、呼吸の変化があるか確認します ☐ 栄養指導を行います					
検査・治療 リハビリ		☐ 心電図・胸部レントゲン ☐ 栄養状態判定(体重測定含む) ☐ 血液検査(炎症・貧血・栄養状態・肝機能・腎機能 血糖・脂質など)・検尿 ☐ 頸部血管超音波検査・下肢血管超音波検査	☐ 筋力・持久力など身体機能評価 ☐ 運動指導 ☐ 服薬指導	☐ 血液ガス測定 ☐ 運動療法	～受け持ち看護職員から退院後の生活について～			退院おめでとう ございます！
生活	☐ お住まいの場所に看護師が訪問し、現在の症状や生活についてお話を伺います	☐ 日常生活の活動・排泄・睡眠などについて病棟スタッフがお尋ねします ☐ 入院生活中の生活に関わるご希望をお聴きします ご記入ください	☐ 離床活動をすすめます ☐ 生活面で気になることを、解決できるように一緒に考えます	☐ 睡眠時の呼吸状態 ☐ 睡眠時の体位				退院おめでとう!!
退院後調整		☐ 患者さん・家族・主治医・看護師・療法士・薬剤師・栄養士・相談員等により退院後の生活を含めた話し合いを実施します ☐ 話し合いの内容を受けて退院支援計画書を作成し、説明します	☐ 医療・介護・福祉等の社会制度についてお困りごとに合わせて利用できる制度・サービスがないか考えます ・お困りごと ・介護サービス利用について ・在宅医療・福祉用具について ・経済的な事についてなど		☐ 入院中の様子や検査結果等を関係者と共有し安心して退院後の生活が送れるよう支援します	退院後、お困り事の連絡先 メリィホスピタル082-849-2300 「外来」もしくは「相談窓口」にお電話ください		



入院診療計画書 「心臓の働きに関する入院予定表」 氏名



入院期間 原則 1 週間 （検査結果・訓練内容により入院期間を変更することがあります） 入院 年 月 日

	入院前	入院当日（ ）	入院 2 日目（ ）	入院 3 日目～	退院前日（ ）	退院日	退院後	
目標	☐ 入院に関わる準備ができる 辛い症状()が緩和する	☐ 入院生活の流れの説明を受け、イメージがつく ☐ 入院中の検査・治療の説明を受け、わかる	☐ 動悸・息切れ・動くとすぐに疲れる・むくみなどの原因を探る。	☐ 安静・運動時の脈拍の変化を知ることができ、楽な範囲の活動がわかる ☐ 全身状態について説明を受け、わかる	退院後、自身や介助者が継続して行うこと			応援してるよ！
説明	☐ 入院に必要な書類 ☐ 現在服薬中のお薬・手帳を入院時に持参 ☐ 入院時用意する物 *入院セット申込みをされる場合準備は不用	☐ 入院時オリエンテーション ☐ 主治医・看護職員・療法士・薬剤師・栄養士から検査・治療・看護などの計画 ☐ 転倒・転落の危険防止 ☐ 人生会議(アドバンス・ケア・プランニング) ☐ 希望時、入院中に歯科往診が受けれます	☐ 息苦しさの判定として、酸素飽和度(動脈血の中にどのくらい酸素が含まれているかの指標) ☐ 咳・痰が出る原因 ☐ 効果的な呼吸の仕方	☐ 動脈血について(血液中の酸素や二酸化炭素の検査) ☐ 入院時の検査結果	日常生活を送る上で「心臓」に関わる必要なこと療養士と確認しよう！			☐ 退院後の食事の様子を確認するために、病棟スタッフや療養士、管理栄養士、摂食嚥下看護認定看護師等がご訪問させていただきます ☐ 訪問予定日(月 日 時頃) *一回目の訪問結果により何度かお伺いさせていただく場合もあります
食事	☐ 食事で食べにくい物、飲み込みにくい物を入院時に、伝えてください	☐ 食事の種類について栄養士と相談します ☐ 食事制限(アレルギーなど)を確認します ☐ 食欲・食事摂取量、嗜好について確認します	☐ 食事を食べる時に、症状の変化があるか確認します ☐ 塩分制限の栄養指導を行います					
検査・治療 リハビリ		☐ 心電図・胸部レントゲン ☐ 栄養状態判定(体重測定含む) ☐ 血液検査(炎症・貧血・栄養状態・肝機能・腎機能 血糖・脂質など)・検尿 ☐ 頸部血管超音波検査・下肢血管超音波検査	☐ 動作時 呼吸・血圧・脈拍等の変動 ☐ 筋力・持久力など身体機能評価 ☐ 運動習慣・活動量の評価 ☐ 服薬指導	☐ 血液ガス測定 ☐ 24時間心電図(必要時) ☐ 運動療法 ☐ 運動指導	～受け持ち看護職員から退院後の生活について～			退院おめでとう ございます！
生活	☐ お住まいの場所に看護師が訪問し、現在の症状や生活についてお話を伺います	☐ 日常生活の活動・排泄・睡眠などについて病棟スタッフがお尋ねします ☐ 入院生活中の生活に関わるご希望をお聴きします ご記入ください						退院おめでとう!!
退院後調整		☐ 患者さん・家族・主治医・看護師・療法士・薬剤師・栄養士・相談員等により退院後の生活を含めた話し合いを実施します ☐ 話し合いの内容を受けて退院支援計画書を作成し、説明します	☐ 医療・介護・福祉等の社会制度についてお困りごとに合わせて利用できる制度・サービスがないか考えます ・お困りごと ・介護サービス利用について ・在宅医療・福祉用具について ・経済的な事についてなど		☐ 入院中の様子や検査結果等を関係者と共有し安心して退院後の生活が送れるよう支援します	退院後、お困り事の連絡先 メリィホスピタル082-849-2300 「外来」もしくは「相談窓口」にお電話ください		



入院診療計画書 「胃腸の調子に心配な方の入院予定表」 氏名



入院期間 原則 1 週間 （検査結果・訓練内容により入院期間を変更することがあります） 入院 年 月 日

	入院前	入院当日（ ）	入院 2 日目（ ）	入院 3 日目～	退院前日（ ）	退院日	退院後
目標	☐ 入院に関わる準備ができる 辛い症状()が緩和する	☐ 入院生活の流れの説明を受け、イメージがつく ☐ 入院中の検査・治療の説明を受け、わかる	☐ 便秘・下痢・おなかが常に張った感じがするなどの自覚症状の原因をさぐる	☐ 原因がわかり、症状がおさまる治療・生活改善等に取り組む ☐ 全身状態について説明を受け、わかる	退院後、自身や介助者が継続して行うこと		
説明	☐ 入院に必要な書類 ☐ 現在服薬中のお薬・手帳を入院時に持参 ☐ 入院時用意する物 *入院セット申込みをされる場合準備は不用	☐ 入院時オリエンテーション ☐ 主治医・看護職員・療法士・薬剤師・栄養士から検査・治療・看護などの計画 ☐ 転倒・転落の危険防止 ☐ 人生会議(アドバンス・ケア・プランニング) ☐ 希望時、入院中に歯科往診が受けれます	☐ それぞれの原因に応じて医師から説明 ☐ 消化器症状に伴い、栄養状態に問題がないか管理栄養士から説明		～退院後の食事に関わること管理栄養士から～		
食事	☐ 食事で食べにくい物、飲み込みにくい物を入院時に、伝えてください	☐ 食事の種類について栄養士と相談します ☐ 食事制限(アレルギーなど)を確認します ☐ 食欲・食事摂取量、嗜好について確認します	☐ 食事に関連して、症状の変化があるか確認します ☐ 症状に応じ、食事を調節、栄養指導を行います		*一回目の訪問結果により何度かお伺いさせていただく場合もあります		
検査・治療 リハビリ		☐ 心電図・胸部レントゲン・腹部レントゲン ☐ 栄養状態判定(体重測定含む) ☐ 血液検査(炎症・貧血・栄養状態・肝機能・腎機能 血糖・脂質など)・検尿 ☐ 腹部超音波検査・下肢血管超音波検査 ☐ 便潜血(必要時)	☐ 症状により、薬治療、薬剤指導 ☐ 排便を促す運動指導(便秘の方)	☐ 排便を促す運動療法・マッサージ(便秘の方)	～受け持ち看護職員から退院後の生活について～		
生活	☐ お住まいの場所に看護師が訪問し、現在の症状や生活についてお話を伺います	☐ 日常生活の活動・排泄・睡眠などについて病棟スタッフがお尋ねします ☐ 入院生活中の生活に関わるご希望をお聴きします ご記入ください	☐ 離床活動をすすめます ☐ 生活面で気になることを、解決できるように一緒に考えます		退院おめでとう ございます！		
退院後調整		☐ 患者さん・家族・主治医・看護師・療法士・薬剤師・栄養士・相談員等により退院後の生活を含めた話し合いを実施します ☐ 話し合いの内容を受けて退院支援計画書を作成し、説明します	☐ 医療・介護・福祉等の社会制度についてお困りごとに合わせて利用できる制度・サービスがないか考えます ・お困りごと ・介護サービス利用について ・在宅医療・福祉用具について ・経済的な事についてなど		退院おめでとう!!		
					退院後、お困り事の連絡先 メリィホスピタル082-849-2300 「外来」もしくは「相談窓口」にお電話ください		



入院診療計画書 「人工肛門・人工膀胱で困っている方の入院予定表」 氏名



入院期間 原則 2 週間 （検査結果・訓練内容により入院期間を変更することがあります） 入院 年 月 日

	入院前	入院当日（ ）	入院 2 日目（ ）	入院 3 日目～	退院前日（ ）	退院日	退院後
目標	☐ 入院に関わる準備ができる 辛い症状()	☐ 入院生活の流れの説明を受け、イメージがつく ☐ 入院中の検査・治療の説明を受け、わかる ()が緩和する	☐ つらい自覚状態の評価ができる ☐ 苦痛に感じている日頃の状態を医師・医療スタッフに伝えることができる	☐ 症状が和らぐことができる ☐ 全身状態について説明を受け、わかる	退院後、自身や介助者が継続して行うこと		
説明	☐ 入院に必要な書類 ☐ 現在服薬中のお薬・手帳を入院時に持参 ☐ 入院時用意する物 *入院セット申込みをされる場合準備は不用	☐ 入院時オリエンテーション ☐ 主治医・看護職員・療法士・薬剤師・栄養士から検査・治療・看護などの計画 ☐ 転倒・転落の危険防止 ☐ 人生会議(アドバンス・ケア・プランニング) ☐ 希望時、入院中に歯科往診が受けれます	☐ 辛い症状の原因と治療方針 *薬による治療 *日常ケア *装具の適正など ☐ フェイススケール ☐ フィットレabee	☐ 症状に合わせた検査 ☐ 入院時の検査結果	日常生活で「人工肛門・膀胱」に関わる必要なこと 皮膚・排泄ケア認定看護師と確認しよう！		
食事	☐ 食事で食べにくい物、飲み込みにくい物を入院時に、伝えてください	☐ 食事の種類について栄養士と相談します ☐ 食事制限(アレルギーなど)を確認します ☐ 食欲・食事摂取量、嗜好について確認します	☐ 栄養状態が保たれ、辛い症状の緩和につながる食事の工夫・栄養指導を行います		*一回目の訪問結果により 何度かお伺いさせていただく場合もあります		
検査・治療 リハビリ		☐ 心電図・胸部レントゲン ☐ 栄養状態判定(体重測定含む) ☐ 血液検査(炎症・貧血・栄養状態・肝機能・腎機能 血糖・脂質など)・検尿 ☐ 頸部血管超音波検査・下肢血管超音波検査	☐ 必要時皮膚科回診 ☐ 皮膚・排泄ケア認定看護師によるケアの指導 ☐ 症状緩和の薬物指導		～受け持ち看護職員から退院後の生活について～		
生活	☐ お住まいの場所に看護師が訪問し、現在の症状や生活についてお話を伺います	☐ 日常生活の活動・排泄・睡眠などについて病棟スタッフがお尋ねします ☐ 入院生活中の生活に関わるご希望をお聴きします ご記入ください	☐ 離床活動をすすめます ☐ 生活面で気になることを、解決できるように一緒に考えます		退院おめでとう ございます！		
退院後調整		☐ 患者さん・家族・主治医・看護師・療法士・薬剤師・栄養士・相談員等により退院後の生活を含めた話し合いを実施します ☐ 話し合いの内容を受けて退院支援計画書を作成し、説明します	☐ 医療・介護・福祉等の社会制度についてお困りごとに合わせて利用できる制度・サービスがないか考えます ・お困りごと ・介護サービス利用について ・在宅医療・福祉用具について ・経済的な事についてなど		退院おめでとう!!		
					退院後、お困り事の連絡先 メリィホスピタル082-849-2300 「外来」もしくは「相談窓口」にお電話ください		





入院診療計画書 「痛みがありつらい方の入院予定表」 氏名



入院期間 原則 2 週間 （検査結果・訓練内容により入院期間を変更することがあります） 入院 年 月 日

	入院前	入院当日（ ）	入院 2 日目（ ）	入院 3 日目～	退院前日（ ）	退院日	退院後	
目標	☐ 入院に関わる準備ができる 辛い症状()	☐ 入院生活の流れの説明を受け、イメージがつく ☐ 入院中の検査・治療の説明を受け、わかる ()が緩和する	☐ つらい自覚状態の評価ができる ☐ 苦痛に感じている日頃の状態を医師・医療スタッフに伝えることができる	☐ 症状が和らぐことができる ☐ 全身状態について説明を受け、わかる	退院後、自身や介助者が継続して行うこと			応援してるよ！
説明	☐ 入院に必要な書類 ☐ 現在服薬中のお薬・手帳を入院時に持参 ☐ 入院時用意する物 *入院セット申込みをされる場合準備は不用	☐ 入院時オリエンテーション ☐ 主治医・看護職員・療法士・薬剤師・栄養士から検査・治療・看護などの計画 ☐ 転倒・転落の危険防止 ☐ 人生会議(アドバンス・ケア・プランニング) ☐ 希望時、入院中に歯科往診が受けれます	☐ 辛い症状の原因と治療方針 *薬による治療 *日常ケア ☐ フェイススケール	☐ 症状に合わせた検査 ☐ 入院時の検査結果	日常生活で「症状緩和」に関わる必要なこと緩和ケアグループ職員と確認しよう！			☐ 退院後の食事のご様子を確認するために、病棟スタッフや療養士、管理栄養士、摂食嚥下看護認定看護師等がご訪問させていただきます ☐ 訪問予定日 (月 日 時頃) *一回目の訪問結果により何度かお伺いさせていただく場合もあります
食事	☐ 食事で食べにくい物、飲み込みにくい物を入院時に、伝えてください	☐ 食事の種類について栄養士と相談します ☐ 食事制限(アレルギーなど)を確認します ☐ 食欲・食事摂取量、嗜好について確認します	☐ 栄養状態が保たれる食事の工夫 ☐ 栄養状態が低下しない栄養指導					
検査・治療 リハビリ		☐ 心電図・胸部レントゲン ☐ 栄養状態判定(体重測定含む) ☐ 血液検査(炎症・貧血・栄養状態・肝機能・腎機能 血糖・脂質など)・検尿 ☐ 頸部血管超音波検査・下肢血管超音波検査	☐ 緩和ケア医回診 ☐ 精神科医師回診 ☐ 症状緩和の薬剤指導 ☐ 痛みの出ない日常生活動作の指導 ☐ フィテラビー		～受け持ち看護職員から退院後の生活について～			退院おめでとう ございます！
生活	☐ お住まいの場所に看護師が訪問し、現在の症状や生活についてお話を伺います	☐ 日常生活の活動・排泄・睡眠などについて病棟スタッフがお尋ねします ☐ 入院生活中の生活に関わるご希望をお聴きします ご記入ください	☐ 離床活動をすすめます ☐ 生活面で気になることを、解決できるように一緒に考えます					退院おめでとう!!
退院後調整		☐ 患者さん・家族・主治医・看護師・療法士・薬剤師・栄養士・相談員等により退院後の生活を含めた話し合いを実施します ☐ 話し合いの内容を受けて退院支援計画書を作成し、説明します	☐ 医療・介護・福祉等の社会制度についてお困りごとに合わせて利用できる制度・サービスがないか考えます ・お困りごと ・介護サービス利用について ・在宅医療・福祉用具について ・経済的な事についてなど		☐ 入院中の様子や検査結果等を関係者と共有し安心して退院後の生活が送れるよう支援します			退院後、お困り事の連絡先 メリィホスピタル082-849-2300 「外来」もしくは「相談窓口」にお電話ください



入院診療計画書 「糖尿病・血糖コントロールに関する入院予定表」 氏名



入院期間 原則 1 週間 （検査結果・訓練内容により入院期間を変更することがあります） 入院 年 月 日

	入院前	入院当日（ ）	入院 2 日目（ ）	入院 3 日目～	退院前日（ ）	退院日	退院後	
目標	☐ 入院に関わる準備ができる 血糖（ ） グリコヘモグロビン（ ） 	☐ 入院生活の流れの説明を受け、イメージがつく ☐ 入院中の検査・治療の説明を受け、わかる	☐ 全身状態により変化する血糖値について知る	☐ 血糖コントロール状況について知る ☐ 全身状態について説明を受け、わかる ☐ 合併症についてわかる	退院後、自身や介助者が継続して行うこと			
説明	☐ 入院に必要な書類 ☐ 現在服薬中のお薬・手帳を入院時に持参 ☐ 入院時用意する物 *入院セット申込みをされる場合準備は不用	☐ 入院時オリエンテーション ☐ 主治医・看護職員・療法士・薬剤師・栄養士から検査・治療・看護などの計画 ☐ 転倒・転落の危険防止 ☐ 人生会議(アドバンス・ケア・プランニング) ☐ 希望時、入院中に歯科往診が受けれます	☐ 医師から症状の説明 ☐ 管理栄養士から栄養状態 ☐ 入院中の運動(リハビリ) ☐ 薬剤師から使用している薬剤 ☐ 必要時 自己血糖測定		日常生活を送る上で「糖尿病」に関わる必要なこと 管理栄養士と確認しよう！			☐ 退院後の食事の様子を確認するために、病棟スタッフや療養士、管理栄養士、摂食嚥下看護認定看護師等がご訪問させていただきます ☐ 訪問予定日 (月 日 時頃) *一回目の訪問結果により 何度かお伺いさせていただく場合もあります
食事	☐ 食事で食べにくい物、飲み込みにくい物を入院時に、伝えてください 	☐ 食事の種類について栄養士と相談します ☐ 食事制限(アレルギーなど)を確認します ☐ 食欲・食事摂取量、嗜好について確認します 	☐ 血糖値の管理を行います ☐ 入院時の目標を決め、栄養指導を行います 					
検査・治療 リハビリ		☐ 心電図・胸部レントゲン ☐ 栄養状態判定(体重測定含む) ☐ 血液検査(炎症・貧血・栄養状態・肝機能・腎機能 血糖・脂質など)・検尿 ☐ 頸部血管超音波検査・下肢血管超音波検査 	☐ 血糖値により、薬剤変更、服薬指導 ☐ 筋力・持久力など身体機能評価 ☐ 運動習慣・活動量の評価 ☐ 運動指導 	☐ 個人に適した運動療法 ☐ 合併症について 	～受け持ち看護職員から退院後の生活について～			
生活	☐ お住まいの場所に看護師が訪問し、現在の症状や生活についてお話を伺います 	☐ 日常生活の活動・排泄・睡眠などについて病棟スタッフがお尋ねします ☐ 入院生活中の生活に関わるご希望をお聴きします ご記入ください	☐ 離床活動をすすめます ☐ 生活面で気になることを、解決できるように一緒に考えます					
退院後調整		☐ 患者さん・家族・主治医・看護師・療法士・薬剤師・栄養士・相談員等により退院後の生活を含めた話し合いを実施します ☐ 話し合いの内容を受けて退院支援計画書を作成し、説明します	☐ 医療・介護・福祉等の社会制度についてお困りごとに合わせて利用できる制度・サービスがないか考えます ・お困りごと ・介護サービス利用について ・在宅医療・福祉用具について ・経済的な事についてなど		☐ 入院中の様子や検査結果等を関係者と共有し安心して退院後の生活が送れるよう支援します	退院後、お困り事の連絡先 メリィホスピタル082-849-2300 「外来」もしくは「相談窓口」にお電話ください		



入院診療計画書 「排尿に関わることで困っている方の入院予定表」 氏名



入院期間 原則 2 週間 （検査結果・訓練内容により入院期間を変更することがあります） 入院 年 月 日

	入院前	入院当日（ ）	入院 2 日目（ ）	入院 3 日目～	退院前日（ ）	退院日	退院後
目標	☐ 入院に関わる準備ができる 入院時、本人・介助者が目標とすること	☐ 入院生活の流れの説明を受け、イメージがつく ☐ 入院中の検査・治療の説明を受け、わかる	☐ つらい自覚状態の評価ができる ☐ 苦痛に感じている日頃の状態を医師・医療スタッフに伝えることができる	☐ 症状が和らぐ ☐ 全身状態について説明を受け、わかる	退院後、自身や介助者が継続して行うこと 応援してるよ！		
説明	☐ 入院に必要な書類 ☐ 現在服薬中のお薬・手帳を入院時に持参 ☐ 入院時用意する物 *入院セット申込みをされる場合準備は不用	☐ 入院時オリエンテーション ☐ 主治医・看護職員・療法士・薬剤師・栄養士から検査・治療・看護などの計画 ☐ 転倒・転落の危険防止 ☐ 人生会議(アドバンス・ケア・プランニング) ☐ 希望時、入院中に歯科往診が受けれます	☐ 辛い症状の原因と治療方針について *薬による治療 *日常ケア *排泄日記 ☐ 骨盤底筋トレーニング	☐ 症状に合わせた検査 ☐ 入院時の検査結果	日常生活で「人工肛門・膀胱」に関わる必要なこと 皮膚・排泄ケア認定看護師と確認しよう！		
食事	☐ 食事で食べにくい物、飲み込みにくい物を入院時に、伝えてください	☐ 食事の種類について栄養士と相談します ☐ 食事制限(アレルギーなど)を確認します ☐ 食欲・食事摂取量、嗜好について確認します	☐ 栄養状態が保たれる工夫 ☐ 栄養指導を行います		～受け持ち看護職員から退院後の生活について～		
検査・治療 リハビリ		☐ 心電図・胸部レントゲン ☐ 栄養状態判定(体重測定含む) ☐ 血液検査(炎症・貧血・栄養状態・肝機能・腎機能 血糖・脂質など)・検尿 ☐ 頸部血管超音波検査・下肢血管超音波検査	☐ 状態緩和の薬物療養・服薬指導 ☐ 皮膚・排泄ケア認定看護師によるケアの指導 ☐ 必要時、残尿測定・導尿等 ☐ 尿漏れに対する運動療法		退院おめでとう ございます！		
生活	☐ お住まいの場所に看護師が訪問し、現在の症状や生活についてお話を伺います	☐ 日常生活の活動・排泄・睡眠などについて病棟スタッフがお尋ねします ☐ 入院生活中の生活に関わるご希望をお聴きします ご記入ください	☐ 離床活動をすすめます ☐ 生活面で気になることを、解決できるように一緒に考えます		退院おめでとう!!		
退院後調整		☐ 患者さん・家族・主治医・看護師・療法士・薬剤師・栄養士・相談員等により退院後の生活を含めた話し合いを実施します ☐ 話し合いの内容を受けて退院支援計画書を作成し、説明します	☐ 医療・介護・福祉等の社会制度について お困りごとに合せて利用できる制度・サービスがないか考えます ・お困りごと ・介護サービス利用について ・在宅医療・福祉用具について ・経済的な事についてなど		退院後、お困り事の連絡先 メリィホスピタル082-849-2300 「外来」もしくは「相談窓口」にお電話ください		